

北海道大学病院に通院・入院されていた患者さんまたはご家族の方へ 臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第 1 号、令和 5 年 3 月 27 日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 骨・関節感染症におけるリネゾリドの臨床的有効性に関する検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 渥美 達也

[研究責任者名・所属]

菅原 満・北海道大学 大学院薬学研究院 教授／北海道大学病院 薬剤部長

[研究の目的]

骨・関節感染症は主に黄色ブドウ球菌やコアグラゼ陰性ブドウ球菌などのグラム陽性球菌が原因菌となります。その治療に対しては主にバンコマイシンやリネゾリドが使用されます。リネゾリドは感染した部位へ薬が到達しやすく、治療効果も高いとされていることから、当院では主にリネゾリドを使用しています。本研究ではバンコマイシンとリネゾリドで治療を開始した場合における治療成績について比較し、リネゾリドの安全性と有効性を検証することを目的とします。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

黄色ブドウ球菌またはコアグラゼ陰性ブドウ球菌による骨・関節感染症の患者さんで、2014 年 3 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日の間に当院でバンコマイシンまたはリネゾリドを使用して治療を開始された方

○利用する情報

以下について、2024 年 5 月 31 日までの情報を利用させていただきます。
診療科、年齢、性別、身長・体重、診断名、現病歴・既往歴、バイタルサイン（血圧、体温、脈拍数、呼吸数、意識レベル）、検査結果（血液検査・細菌の培養検査）、薬剤の投与履歴・副作用歴、人工呼吸器使用の有無、感染源、手術歴、ICU入室歴、重症度、入院日・退院日、転帰

[研究実施期間]

実施許可日(情報の利用開始：2024年9月頃)～2025年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりました

2024 年 8 月 13 日（第 1.2 版）

い場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 薬剤部 副部長 武隈 洋

電話 011-706-5754 FAX 011-706-7616